

第 5 回町田市長期計画審議会（書面会議）議事概要

1 開催形態

令和 2 年 4 月 1 7 日～5 月 8 日で書面会議を開催。

2 報告事項

- (1) 第 4 回審議会の振り返り
- (2) まちづくりの方向性について
- (3) 行政経営の方向性について

委員	意見	対応の方向
芳賀	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3 重要な視点①【共創化・オープン化】のオープン化に対応する文言が説明文の中に必要では？ ・AI、IoT、ICT などの略語は初出のときのみ（ ）内に、意味をあらわす文言をわかりやすく併記してはどうでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の最終行「行政の持つ情報を活用しやすい形で共有していく」が、情報のオープン化を想定しています。 ・略語は素案に掲載する際に注釈等で対応します。
野澤	<p>「まちづくりの方向性」の「1 子どもと～」のうち、「子どもにやさしいまちは、高齢者や障害者など、みんなにとってやさしいまちです」という加筆部分は、本当にそのように言うて良いか、という疑問を感じました。もっとも、大久保会長と事務局の皆様で協議した内容ですし、そこに重点があるわけでもないの、感想に留めておきます。</p>	
大野	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3：誤植修正 2 行目「必要な担い手が確保することが難しくなる」⇒「必要な担い手の確保が難しくなる」 ・文中の「活かした」は常用外漢字のため「生かした」としたほうがよいのでは。 ・最後の行は重複しているため削除。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誤植を修正します。 ・「生・活」の両方をイメージできるよう漢字をひらがな表記に修正します。 ・重複を削除します。

3 議事

- (1) なりたいまちの姿について

委員	意見	対応の方向
野澤	<p>①：候補の中では、「未来への希望がカタチになるまち」「わたしが未来を描けるまち」が良</p>	<p>・なりたいまちの姿の表題部分については、第4回審議会において概ね確</p>

	<p>いかと思いました。私は、①のポイントは「希望する未来が実現すること」にあると考えますが、ほかの候補はそれとズレます。敢えていえば、「未来への希望が描けるまち」がいいかなと。言い換え分の中にまた「カタチ」を出すのは避けた方がいいかなという意見です。また、下部の説明文の中に、「方向性①」で今回追記した「高齢者・障がい者」に関する記載がありません。私は正直なくてもよいと思います。</p> <p>②：「わたしのちょうどいいをデザインできるまち」、「わたしの暮らしが見つかるまち」が良いです。敢えて言えば、二つを合わせて「わたしの暮らしがデザインできるまち」が良いかなと思います。趣旨は、言葉が上位概念とできる限り被らない方がよいと思うからです。下部の説明文の中で、「思い思いの暮らしを描くことができる環境を提供していくとともに、昨日よりも今日、今日よりも明日と、生活の質の向上をちょっとずつでも実感できる」という部分が一番だと思うので、それがイメージできる表現で考えました。</p> <p>③：「まちが家族しているまち」もしくは「ありのまま暮らせるまち」が良いと思いました。どちらかというと後者です。ここはダイバーシティ・共生社会をいうところだと理解しています。その点では「家族」という括りは、否定しませんが、違和感が多少あります。また、下部の説明文の中に、高齢者・障がい者に関する明示があるといいと思いました。</p>	<p>定していることから、基本的には資料4のままでいきたいと考えています。</p> <p>・③の説明文に高齢者・障がい者に関する記載を追記します。</p>
上坂	<p>なりたいまちの姿①説明文 10 行目 自分自身の未来を獲得して→描いての方が良い気がします。</p>	<p>表現を修正します。</p>
小林	<p>・意見というより、質問です。説明文の最後が3つとも「なっていたいと考えます」という共通の表現でくくられています。「なっていたい」というやわらかい表現がここでは適当なのでしょうか？「こういう姿をめざしま</p>	<p>・「なりたいまちの姿」であるため、「なっていたい」という締め方をしてありますが、ここでは表明的な言葉の方がふさわしいかと思いますので、表現を修正します。</p>

	す」「なっていることをめざします」という表明的な表現はあえてしない方がよいのでしょうか。 ・説明文の文章の一文が長く、伝わりにくさを感じました。	・一文の長さについては、これ以上の削減が難しく、このままでいきたいと考えております。
大野	・②12行目「仕事、遊び、学び」⇒「仕事、学び、遊び」遊びと学びの順番を入れ替えたほうがよい。 ・③6行目「～しなければなりません」との一文が、考え方を押し付けられているように感じられ、ホッとできない。この一文を削除するか表現を変えたほうがよい。	・語順を修正します。 ・表現を修正します。

(2) 行政経営のあり方について

委員	意見	対応の方向
大久保	案2	
芳賀	案2 6行目；町田市の特性や課題を <u>提示していく</u> ことで、→下線部「 <u>見える化</u> していくことで」？	町田市の特性や課題を積極的に示していくことを表したいと考え、「町田市の特性や課題を示していく」としました。
野澤	案1 案はシンプルなものを選びました。「市民の生活をより豊かなものに」はもはや当たり前の前提だと思います。 1点だけ、ここで議論することではないかもしれませんが、説明文の中の「町田市の持つ魅力と強みを活かした公共サービス」とは何か。これは未確定で、それを生み出すための「共創」という理解でしょうか。方向性の「町田らしい公共サービス」というのも、どこかの段階でイメージが分かるとよいと思います。	「町田らしい」は、町田市の強みや魅力をいかした取り組みを進めていくことを表しています。 具体的には、南町田グランベリーパークのような市民ニーズを捉えたこれまでにない事業を展開していくとともに、自治体間ベンチマーキングのようにこれまで町田市が取り組んできた先進的、特徴的な取り組みをさらに推し進めていくイメージです。
深澤	案2	
三輪	案2	
上坂	案2	
桜本	案1 なりたいまちの姿が名詞で終わっているの	参考にさせていただきます。

	で、案1の方が体裁が良いように思います。	
小林	案2	
大野	案2 ・1行目「価値観の多様化」まちづくりの方向性では「多様な価値」としたが、ここは価値観でよいか？ ・行政経営の方向性では重要な視点に「ブランド化」とあったが、この言葉はどこかに加えなくてもよいか？ ・文中の「活かした」は常用外漢字のため「生かした」としたほうがよいのでは。	・社会構造の具体例として示しているので、価値観の変化と表しました。 ・「町田市を持つ魅力と強みを活かした公共サービスを展開していく」に要素を込めました。 ・「生・活」の両方をイメージできるような漢字をひらがな表記に修正します。
安達	案2	
小野	案1 シンプルな表記でイメージがふくらむ表現がよい。	参考にさせていただきます。
清原	案1 ただし、そもそも行政は市民の信託に基づくので、「共創により」は当然であり、「新たな価値を生み出す」も他に選択がないのでとの疑問は残ります。 案2にある、「市民の生活をより豊かなもの」も同様に他の選択がないので更に疑問です。	参考にさせていただきます。

(3) 基本構想の素案について

委員	意見	対応の方向
芳賀	P28 ; 65歳以上の老年人口のところに、75歳以上人口についても触れてはどうでしょうか？（今後の超高齢社会では、65～74歳の増加よりも、75歳以上人口の増加が個人にとっても社会にとっても問題です）	・75歳以上人口について追記します。
三輪	・全体の構成としてはわかりやすくなったと思います。ただやはり全体として難しい感じはします。 ・p.5 策定スケジュールはいいと思うが、p.6の方で示している○☆の形や色の意図が不明。また内容が単なる内容の「羅列」にすぎずp.5のスケジュールと代わり映えしない	・P6の○から☆への形の変化は、みんなの想いが段々と集約されていく感じをイメージしており、色は各なりたいまちの姿や行政経営のあり方に対応しています。どこの場でどんなことを検討したかが分かりやすいように修正します。

	<p>気がする。具体的に審議会でどんな意見が出されたのかがコンパクトにキーワードなどで追記されてわかるといいなとも思ったのだが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p. 9, 11, 13 の矢印は⇒方向がよいのでは。 ・ p. 20 以降、(1) (2) のタイトルは「●●である」などとその事象がどうなっているのか、どう解釈しているのか、がわかるタイトルとなっているが、(3) だけは「町田市に住む人、来る人、行く人」といったタイトルで人口増減や出生率の変化、昼夜間人口の変化の数字が事実として記されているだけで、どう課題として捉えてどうビジョンとして捉えようとしているのか、が伝わらない。p. 28 の人口構成などの内容とも重なることになるが、住む人、来る人、行く人の変化をどう課題視したり希望視しているのかを書くべきではないか (資料 8-1 のような内容か)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P9、11、13の矢印は、基本構想の体系が、キャッチコピー→なりたいまちの姿→まちづくりの方向性という構成になっているため、この順番で表記しています。現段階ではこの順番のままにしていきたいと考えています。 ・「町田市に住む人、来る人、行く人」のタイトルを修正します。
<p>大野</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ P. 2 1 (仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040 策定の趣旨 <p>1~6 行目に町田市の人口推計が記載されているが文章だけでは伝わりにくい。後半のページ掲載されているグラフを参照するようにしたほうが分かりやすい。</p> <p>以下の注釈を追加するか、グラフそのものを再掲するか、工夫が必要。</p> <p>※P. 28 グラフ「町田市における将来人口の推計結果」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文中の「活かした」は常用外漢字のため「生かした」としたほうがよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口推計についての注釈を追加します。 ・ 「生・活」の両方をイメージできるよう漢字をひらがな表記に修正します。
<p>小野</p>	<p>10 年というスパンで夢のまちづくりはむずかしいと思う。もう少し広く大きくとらえて欲しい。まちづくりは、人なりであって出生率も政策によって変化すると思う。</p>	<p>出生率については、数値ではなく希望を叶えるというところに主眼を置いています。</p>

(4) キャッチコピーについて (資料1-2参照)

委員	意見
大久保	①⑤⑥ ⑤→ずっと、もっと、ふくらむ町田
芳賀	①③
野澤	②④⑤
深澤	①④⑤
三輪	①③⑥ くらす あそぶ えらべる まちだ、まちだでつくるあなたの物語、のように、ひらがな表記の方がいい感じかもしれません。
上坂	①②⑥
桜本	①⑤⑥ ①のイメージが強すぎてこれを超えるキャッチコピーがなかなかみつかりません。 ②のファミリーという単語は避けた方が良いでしょう。
小林	①④⑤ ①の現行広報コピーはよいと思います。ただ、2040 になりたい未来、となると現行のままではよいのか、疑問もあります。発展形として、「いいことたくさんふくらむまちだ」。「たくさん」「いっぱい」などを吹き出しに●に入れたりしてはどうかと。
大野	① ①は2040年にどうなりたいかを最も端的に表すことばとして秀逸、広報コピーとしてすでに市民に定着しているので受け入れやすい。ただし、新味がほしいので以下に修正案を示す。他の案はどうなりたいかが不明確または偏りがあるため選択できない。 【修正案】 基本構想P.2『世の中消費動向が“モノ”から“コト”へと転換』との記載を受けて、「いいコトふくらむまちだ」 あるいは、現在よりもさらにより未来を追求する意味で、「もっといいコトふくらむまちだ」
安達	①③⑤
小野	①④⑥
清原	⑤⑥

(5) 基本計画の体系について

委員	意見	対応の方向
芳賀	「5 になりたいまちの姿の実現に向けた課題」として、5つ挙げていますが、その他に	5つの課題についてはライフステージごとの政策を導き出すために挙げて

	<p>“人と人とのつながりの支援・促進（人的ネットワークの構築支援）”もなりたいまちの姿や行政経営における「共創」を実現する上での基本的な課題と思われます。（6）として独立した課題の設定が難しければ、（4）あるいは（5）の一部に含めることはできないでしょうか。</p>	<p>いますが、それとは別に全ての世代に向けた政策を設けており、政策6がつながりのことを謳っているため、ここでカバーできていると認識しております。</p>
野澤	<p>質問になりますが、「政策名：好きな場所・好きな時間を持てるまちになる」と「基本政策：経済活動が盛んなまちをつくる」の関係がよく分かりませんでした。政策名で何かが変わるわけではありませんが、分かりやすさのためですので、念のため。</p>	<p>政策3では、若年層の定住促進や居住継続などをねらいとしています。町田に働く場所があることや好きな仕事を町田でできることを打ち出していくため、現在の基本計画の「経済活動が盛んなまち」という基本政策と対応しています。政策名については今後も修正の余地があるため、ぶら下がる施策が決まっていく中で齟齬がないようにしたいと考えています。</p>
三輪	<p>・「赤ちゃんに選ばれるまちになる」というのは感覚的には好きですが一般には理解が難しいかもしれません。ここで産みたい、ここで育てていきたい、そこで子育てして定住していくことがまちの力になるという意図を伝えたいのでそのまま「子育てがまちの力になる」という方が妥当です。ただ他の韻の踏み方？との兼ね合いが異なりますが…。</p> <p>・一方次の「未来を生きる力をみんなで育てるまちになる」というのは育てるというより子どもも他者もお互いに育ち合うという意味があったほうが良い気がしました。「未来を生きる力を育み合うまちになる」というのはどうでしょうか。</p> <p>・「とにかく強いまちになる」の“とにかく”が気になりますね。代替案はないのですが。</p> <p>・シートの構成としては、全世代の右端6～9は、1～8のライフステージの流れの下側にあって縁の下のベースというようなイメージかと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>・資料 8-3 の基本方針の3つの柱の文言は</p>	<p>・政策1と政策9の名称はインパクト重視で設定しています。政策名については今後も検討の余地があるため、分かりやすさとの兼ね合いをはかり決めていきたいと考えています。</p> <p>・政策2の名称を修正します。</p> <p>・全世代向けの政策体系については、見せ方を検討します。</p> <p>・基本方針の検討に際して参考にさせていただきます。</p>

	<p>それでいいかとは思いますが。資料8-2の言葉のトーンに比べて少し難しい印象ではありますが。</p>	
<p>小林</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IV 5 誰かのために活躍できるまちだ → 大事な視点であるが、高齢期だけではなく、誰にでも当てはまるのではないのでしょうか。 ・想定指標も「就労率」「健康寿命」のみというのも曖昧。 ・あえて高齢期を主たる顧客とするなら、「いつまでも誰かのために活躍できるまちだ」「誰かのために生涯活躍できるまちだ」も。 ・9 「とにかく強いまちになる」、「とにかく強くて優しいまちになる」は？強いだけではこの時代だめなのではないかと。もちろん強さの意味に優しさも包括されていると思いますが。 ・8-2 の「全世代に向けて」の縦軸が分かりにくいのでは。字を目立たせるとか、色を変えるとか必要に思いました。体系としてはまとまっているが、見づらさがあります。 ・8-3 体系とありますが、「行政経営における3つの重要な視点」「課題解決に向けた行政経営の視点」「基本方針」が体系化されてように見られません。「課題解決に向けた行政経営の視点」が始めから色別にグループ化されているのは方針につなげるため？ ・8-3 基本方針の「対話による組織経営力の強化」について、組織経営力の強化が対話によるだけなのか、それで強化できるのか、方針としては弱さを感じます。共創を打ち出しているのであれば、例えば、ダイバーシティ的な経営が合うのではないのでしょうか。 ・8-3 方針の柱の数は、3つくらいが適切かと思いますが、1を支えるのも2, 3があつてこそ。この3つが並列でよいのか。この分野は全くの素人なので分かりませんが感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策5については、2040年は高齢者の活躍が不可欠であることから、特に高齢期に焦点を当てています。 ・指標については今後の施策検討なども踏まえ、ふさわしいものを設定していきます。 ・テーマ名称については修正します。 ・政策9の名称はインパクト重視で設定しています。政策名については今後検討の余地があるため、分かりやすさとの兼ね合いをはかり決めていきたいと考えています。 ・全世代向けの政策体系については、見せ方を検討します。 ・8-3における体系は「基本方針」「改革項目」部分になります。「行政経営における3つの重要な視点」と「課題解決に向けた行政経営の視点」は、基本方針の前提となる要素として示しています。体系と要素がどこで分かれるのかを示す枠を追記しました。色分けは、課題解決のための15の視点を分野別に分けたものです。 ・ここでは、定数管理や目標管理、人材登用・育成などの事業が紐づくことを想定しています。組織経営力の強化のためには、対話が重要な要素と考えています。ご意見を参考にさせていただきます。 ・基本方針1を実施していくためには、基本方針2の人・組織、基本方針3の財政・資産という資源が必要になってくると考えていますが、体系図としては並列で示していきたいと考えています。

大野	<ul style="list-style-type: none"> ・誤植修正 資料 8-1P.2 年少人口の転入超過が続けることが課題 ⇒ 年少人口の転入超過が続けることが課題 <ul style="list-style-type: none"> ・資料 8-2 生涯学習の指標を中年期だけでなく高年期にも設定してはどうか 例えば、本学の市民公開講座に参加した約 80%が 60 歳以上というデータもある	<ul style="list-style-type: none"> ・誤植を修正します。 ・指標については今後の施策検討なども踏まえ、ふさわしいものを設定していきます。
小野	資料 8-1 : 10/11～11/11 は同感である。	

4 その他

(1) 市議会からの意見について

委員	質問等	回答
	意見なし	

(2) 中間報告について

連絡事項のみ

以上